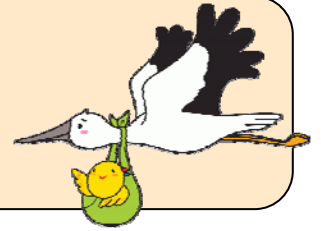


# ひょうご 子ども未来通信2月号

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08\\_000000008.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html)



## 平成22年度第2回 県・市町懇話会 **安心こども基金を活用した子育て支援強化を市町に要請**

知事及び県内の全市町長等が一堂に会し、幅広く意見交換を行う「県・市町懇話会」が1月20日、県公館で開催されました。

会議冒頭、井戸知事から、子育て支援に関連して「子どもの通院医療費の助成拡充について検討したい」とあいさつがありました。その他少子対策・子育て支援の推進に関して清原理事から、「安心こども基金を活用して、保育所・認定こども園、放課後児童クラブなどの積極的な整備をお願いしたい。また、ファミリーサポートセンターの立ち上げ等にも積極的に活用を」と働きかけました。

### <安心こども基金>

子どもや子育てを社会全体で支えるために創設した基金。平成23年度までの延長が決定。

(問) 県少子対策課 078-362-4183



## ひょうご縁結びプロジェクト

### はばタン会員の申込が600人を突破 希望者にお見合い紹介

若者の出会い・結婚を支援するひょうご縁結びプロジェクトで、昨年12月より募集を開始したお見合い紹介をする「はばタン会員」の申込者数が1月末に早くも600人を突破しました。



会員になると、相手のプロフィールの閲覧ができ、こうのとりの出会いサポーターの仲介により、お互いが気に入れば、個別のお見合いをセッティングします。是非お申込ください。

### はばタン会員大募集

個別のお見合い紹介の機会を提供する「はばタン会員」(登録料3,000円)を募集しています。詳しくはお近くの地域出会いサポートセンターまで

(問) (公財)兵庫県青少年本部  
ひょうご出会いサポートセンター078-891-7415

## 1.17防災未来賞「ぼうせい甲子園」表彰式

子どもや学生が学校や地域で主体的に取り組んでいる防災活動を顕彰する1.17防災未来賞「ぼうせい甲子園」の表彰式が1月9日、県公館で開催されました。

6年目となる今年度は、小・中・高・大学の4部門に全国から計101団体の応募があり、グランプリには地域で家具転倒防止を呼びかけた徳島市津田中学校が受賞しました。県内から下記の2団体が入賞したほか、特別賞のはばタン賞には、アトリエ太陽の子(神戸市)など3団体が選ばれました。



### 県内の受賞団体

高校生の部 (優秀賞)	県立佐用高等学校	「豪雨災害の復旧から地域貢献、防災活動」
大学生の部 (奨励賞)	阪神淡路大震災写真調べ学習プロジェクト	「写真に写った被災者から受け継ぐ阪神淡路大震災」

(問) 県復興支援課 078-362-4335

# みんなで予防しようインフルエンザ

県内でインフルエンザが「流行期」に入っています。

県感染症情報センターによると、県内199の定点医療機関あたりのインフルエンザ患者数は、平成23年第1週の2.33人から第3週（17～23日）は18.46人へ急上昇しています。また10歳未満が49%を占めるなど、子どもの感染割合が多数を占めています。

県では、保育所向けのDVD「インフルエンザの基礎知識」を作成し、インフルエンザの予防や対応などについて



DVD「インフルエンザの基礎知識」より

ての正しい知識の普及啓発を図っています。

手洗い・うがいなどの予防を行うとともに、感染が疑われる場合には早めに医療機関に受診しましょう。

## 予防のポイント



### <外出後の手洗い等>

手洗いは手指など体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法で、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。

### <適度な湿度の保持>

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。

### <十分な休養とバランスのとれた栄養摂取>

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

### <人混みや繁華街への外出を控える>

人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合には、不織布製マスクを着用しましょう。

### <ワクチン接種>

インフルエンザワクチンは、罹患した場合の重症化防止に有効です。ただしワクチン接種後効果がでるまで2週間から1か月必要です。

(問) 県児童課 078-362-3199 県疾病対策課 078-362-3214

## 「タイガーマスク運動」県内でも



昨年末、漫画タイガーマスクの主人公「伊達直人」と名乗る匿名の人物から群馬県中央児童相談所にランドセル10個が送られました。

その報道がきっかけとなり、ランドセルや文房具などを児童養護施設に寄付する「タイガーマスク運動」が全国に広がっており、兵庫県でも児童養護施設等に同様の寄付が100件以上寄せられています。

全国児童養護施設協議会では、ご厚意へのお礼とともに「寄付をお考えの方は事前に施設にお問合せを」と呼びかけています。

### ？ 児童養護施設とは・・・

児童福祉法に定められた児童福祉施設の一つで、災害や事故、親の離婚や病気、また不適切な養育を受けているなどさまざまな事情により、家族による養育が困難な2歳からおおむね18歳の子どもたちが家庭に代わり生活している施設です。

全国に579施設、県内に31施設が設置運営されています。

県内の児童養護施設への寄付の状況

施設数	件数	内容
27施設	116件	ランドセル72個、現金・金券1,761千円、文房具、お米、お菓子、ジュース、スポーツ用品等

(1月21日現在 県児童課調べ)

県内の児童養護施設へ寄付をお考えの方はこちらまでお問合せください。

兵庫県児童養護連絡協議会  
電話 079-230-1212

神戸市児童養護施設連盟  
電話 078-341-5897



## ひょうごあそびの伝承師交流大会(1/15)

県では、親子が伝承あそびで共に楽しみながら、豊かな感性や思いやりなどを育む手助けをする「ひょうごあそびの伝承師」を養成しています。

1月15日には、神戸市内で伝承師の交流大会を開催し、新たに259名を認定。実践活動発表後の講演では、NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」わらべうたコーナー監修の近藤信子さんが実践指導を行い、参加者にわらべうたの楽しさを伝えました。

### 伝承あそびのいいところは？

- わらべうたを歌うとリラックスできるので、子育て中の母親のストレス解消にも良い。
- 伝承あそびは笑うことが多く、子どもの成長につながる。
- いろいろな人が関わることであそびに広がり生まれる。 など

(交流大会での発表より)



(問) 県立こどもの館 079-267-1153

## ひょうごユースケアネット支援機関ナビを開設

ひきこもり、不登校等課題を抱える子ども・若者を支援する「ひょうごユースケアネット推進会議」では、この度、新たに県のホームページ上に「ひょうごユースケアネット支援機関ナビ」を作成しました。この支援機関ナビにより、悩みを抱える子ども・若者やご家族が専門支援機関や相談窓口等を容易に探すことができるようになります。

既設の専門電話相談「ひょうごユースケアネットほっとらいん相談」(専用ダイヤルTEL078-977-7555)とあわせ、ぜひご活用下さい。詳しくは以下のHPまで。

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac12/ac12\\_000000046.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac12/ac12_000000046.html)

支援機関ナビ

検索



(問) 県青少年課 078-362-3141

## 「未来の親大集合 みんなで楽しむ子育て講座」(1/23)

父親による子育てや地域活動への参画を促し、地域でのネットワークづくりを支援するため、県内4か所でリレー開催している「おやし元気サミット」が1月23日豊岡市民プラザで開催されました。

小崎恭弘さん(神戸常盤大学短期大学部准教授)、睦美さん(保育士)夫妻による楽しい子育てについての講話、育メン3名の事例発表の後行われたフリーディスカッションでは、「今は『育メン』が普通になってきたが、社会に根付かせるには地道な活動しかない」などの熱い議論が交わされました。



(問) 県男女家庭室 078-362-3169

## 参加者募集

### シンポジウム

#### 輝いて 一兵庫・神戸から

- ◇日時：平成 23 年 2 月 18 日（金）13:30~16:30
- ◇場所：神戸国際会議場メインホール  
（神戸市中央区湊島中町6-9-1）
- ◇内容：基調講演（作家 桐嶋洋子氏 テーマ「子育てほどおもしろい『旅』はない」、パネルディスカッション（テーマ「子どもの笑顔があふれる社会」）
- ◇申込：所属、氏名、住所、電話、FAX を記載の上、シンポジウム運営事務局（FAX078-335-0357）まで（参加費無料）
- ◇定員：700 名（先着順）
- ◇問合せ：シンポジウム運営事務局 電話 078-335-2880  
パネルディスカッション終了後「交流会」（有料）を開催します。

### 子どもたちの輝く未来を創るひょうごの大会

子どもたちのよりよい生活習慣づくりについて考えるとともに、本年度策定した子どもの生活習慣づくり行動指標の普及を図ります。

- ◇日時：平成 23 年 2 月 20 日（日）13:30~16:30
- ◇場所：県立こどもの館（姫路市太市中 915-49）
- ◇内容：モデル実践保育所・小学校による発表、伊藤篤神戸大学大学院教授による基調提案、パネルディスカッション など（参加費無料）
- ◇申込：インターネット(<http://www.kodomonoyakata.jp/>)のフォームまたは、名前、所属、住所、電話、FAX・メールアドレスを記載し、郵送・FAX で申し込み。
- ◇締切：2 月 6 日（日）（郵送は当日消印有効）
- ◇問合せ：県立こどもの館 電話 079-267-1153

## 地域団体・NPO・企業等の活動紹介

### 網干片岡庄屋塾 寺子屋教室（姫路市）

「網干片岡家の保存・活用を考える会」（加藤三郎代表）では、姫路市網干区にある古民家「片岡家」を改修して、子育てほっとステーション「網干片岡庄屋塾 寺子屋教室」を開設しています。

教室では、中高年世代の運営スタッフが手作りのプリントを使って、子どもたちに「読み書き」「計算」の学習支援を行うとともに、紙芝居、本の読み聞かせ、カルタとりなど、昔ながらの遊びや季節行事などを体験できる場を提供しています。

利用時間は、毎月第 2・第 4 土曜日の午前 9 時半～11 時です。



（問）網干片岡家の保存・活用を考える会  
079-272-0791

### ◇ 頑張る企業 ◇

#### 院内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援

##### 医療法人社団中井病院（神戸市）

（代表者：中井正信 事業内容：医療業）

同院では、子育て中の職員が安心して働き続けることができる職場環境づくりに向け、平成 22 年 12 月に院内保育ルーム「エンゼル」を開設しました。



これまで職員からは、「育児のために勤務時間の制限がある」「希望の保育所に入所できず思うように働けない」といった意見がありましたが、院内保育ルーム開設により「安心して子どもを預けることができる」「送迎の負担が軽くなる」といった満足の声が上がっており、同院では今後の人材確保と職員の定着に向け、大きな期待を寄せています。

### ※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部（健康福祉部 子ども局 少子対策課）：  
[shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp](mailto:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp)

### ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月 3~4 回配信しています。  
[regist@magazine.hyogokosodate.jp](mailto:regist@magazine.hyogokosodate.jp) (QR コードからも読取可) に空メールを送付し登録してください。

